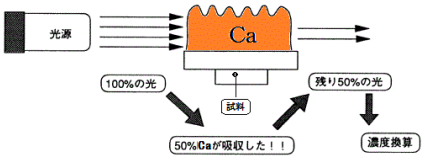
平成３１年４月２７日

工業化学科　実習見学会

４月２７日（土）に行われたPTA総会の前に、授業参観と実習見学が実施され、３年生の実習を保護者に見ていただきました。

原子吸光分析実習

市販のミネラルウォーターに含まれるカルシウムを原子吸光分析装置で測定する実験を公開しました。今回は硬度の高い（カルシウムやマグネシウムが多く含まれる）ミネラルウォーターを使用しました。原子吸光分析は試料を高温中で原子化し、そこに特有の波長の光を照射して吸収された光量を測定することで微量の金属元素の定量分析（その金属元素が含まれている量を調べる）を行なうものです。



硬水か軟水かを分析し工場用水に適しているかどうかを調べたり、水に含まれる重金属の量を測定する基本操作を学んでいます。

プラント実習

精留塔を使った実習の公開をしました。

低濃度アルコール水溶液から、高濃度のアルコールを分留する様子を見学していただきました。精留とは沸点の違いを利用して何段階にも分けて蒸留を繰り返して、混合物から純粋な物質を取り出す操作です。

簡単に言えば、米や芋、麦などを発酵させてできたアルコール混合物から、アルコールを蒸留して焼酎を作っている工程だと考えてください。

原油からガソリン、軽油、灯油、重油などを分留する基礎技術を学んでいます。

保護者の皆様には、授業参観や実習見学をとおして、工業化学科の生徒がどのような勉強や実習をしているかお分かりいただけたようです。

実習見学にお越しいただき、ありがとうございました。

工業化学科